

質問書回答

2017 年 12 月 11 日

「イラン国カルーン河上流域における参加型森林・草地管理能力強化プロジェクト」
(案件番号:170829 公示日:2017 年 11 月 29 日)について、質問の回答は以下のとおりです。

通番	当該頁項目	質問	回答
1	業務指示書(p.8) 第9プロポーザルの評価 2 評価結果の通知	評価の確定が2017年12月28日と記載されており、プレゼンテーションの日程(p.6記載:1月4日)よりも前に設定されていますが、間違いはないでしょうか？	2018年1月17日の誤りです。
2	業務指示書(p.16 6-8 行目) 5. 実施方針及び留意事項(8)事業対象地	成果3の具体的活動地域はCB州のPFRMPの対象5村落とありますが、これは前フェーズでの活動対象地域(5村落)と同じ村落という想定でしょうか？	ご理解の通り、前フェーズでの活動対象地域(5村落)と同じ村落を想定しております。
3	業務指示書(p.17) 6. 業務の内容 (1)業務全体に関する事項 3)情報共有のための会議の開催(プロジェクト調整会議を含む)	ここでの「プロジェクト調整会議」とは、JCC のことと考えてよろしいでしょうか？	ご理解のとおりです。
4	業務指示書(p.17) 6. 業務の内容 (1)業務全体に関する事項 7)プロジェクト関係者の本邦研修	「(課題別研修への上乗せ分を含む。)」とありますが、一般レベルを対象とした3週間の研修の中で、国別研修と課題別研修の両方を実施することが想定されていると考えてよろしいでしょうか？	対象者、内容によって年度ごとに国別研修で実施するか課題別研修の上乗せで実施するかを決めていく想定です。
5	業務指示書(p.23) 5.2. 年間 Off-JT 計画に基づいて、Off-JT (研修、スタディ・ツアー、セミナー、ワークショップ等)を実施する	「年6回程度、1回につき40人程度を想定する」とありますが、州ごとに6回ではなく、全州込みで年6回という想定でしょうか？	全州込みで年6回という想定です。また、それぞれの研修について、複数の州から参加者を募る想定をしています。

通 番	当該頁項目	質問	回答
6	業務指示書 (p.28) 5. 経費の見積もりについて (3) 現地再委託 1) 成果 1 の現状調査	成果 1 の現状調査については目安金額が記載されていませんが、この項目については各社で見積もるという想定でしょうか？	ご理解の通りです。なお、成果 1 の現状調査については現地再委託等による大規模な調査は想定しておらず、業務指示書に記載のとおり、C/P へのヒアリングや既存の資料に基づいて情報を整理するような想定としています。
7	業務指示書 (p.28) 5. 経費の見積もりについて (4) 機材調達	「および については本機材調達分として本見積もりに 10,000 千円を計上すること」とありますが、 と を合わせて 10,000 千円と考えてよろしいでしょうか？	ご理解の通りです。
8	業務指示書 (p.21) 2.2. Eco-DRR (Ecosystem-based solutions for disaster reduction)、PES (Payment for ecosystem services : 生態系サービスへの支払い) 及び日本の経験等の新たな技術を紹介する。	「デモンストレーション事業の内容・詳細設計についても、現地調査を踏まえた提案を行い、イラン側政府及び機構と協議の上、最終化する。」 「デモンストレーション事業における(ア)チェックダム、(イ)貯水池の土木工事を伴う業務については、JICA イラン事務所が設計、施工・監理業者と契約して実施するため」とありますが、ここでいう設計には詳細設計が含まれると理解して良いでしょうか？ また詳細設計を「最終化する」というのはいかなる作業でしょうか。	「デモンストレーション事業における・・・設計、施工・監理業者と契約して実施するため」とある部分の設計という言葉には詳細設計を含みます。また、「詳細設計を最終化する」というのは現地業者が作成した詳細設計について確認し、改善すべき点があればそれをイラン側及び機構に伝えることを想定しています。
9	同上	イラン事務所が調達する現地業者が設計を実施する場合、これらの費用は本件の見積に計上する必要はないという理解でよいでしょうか。 仮にコンサルタントが設計業務を行うとした場合は、i)地形測量及び構造物設計用の現地の測量作業、ii)工事に必要な構造物等の設計図面作成、iii)工事に必要な費用算定、iv)工事仕様書作成といった一連の作業が必要になる	設計についてはJICAが現地業者に直接委託予定のため、見積に計上する必要はありません。指示書にありますとおり、コンサルタントにはJICA イラン事務所が現地業者と契約を行うに当たっての支援（入札図書案の作成等）を行っていただく予定です。

通 番	当該頁項目	質問	回答
		と考えており、かかる費用は本件の見積に計上する必要があると考えます。 ただし、現段階で想定する(まだ確定していない)対象地状況、規模、箇所等をベースに見積を行うために、別見積に計上することによりよいでしょうか。 また業務開始後に実際に想定と違う内容となった場合は、別途契約変更等に対応するという理解でよろしいでしょうか。	

以上